



<前提条件>

- ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札や、化石燃料との値差を補填するための制度の適用等を通じて、LNG火力に劣後しない事業性が確保されること(シナリオ共通)
- ✓ 各脱炭素比率において安定的に運転可能な技術が確立すること(シナリオ共通)
- ✓ 必要なステークホルダーとの合意が得られること(シナリオ共通)
- ✓ 関連技術の進展や経済性等の要素に鑑み、投資判断の段階で各シナリオから最も優位性のあるものを選択すること(シナリオ共通)
- ✓ 脱炭素化に向けての対応は、本シナリオに限定されるものではなく、複数手段を複合的に適用する選択肢も有り得ること(シナリオ共通)
- ✓ e-methaneまたは水素の十分な調達環境が整い、供給インフラが構築されること(シナリオ1,2)、CO₂貯留地や貯留量が確保されること(シナリオ3)、付帯設備の構築に必要な土地が確保されること(シナリオ2,3)
- ✓ 水素関連設備やCCS設備を取り扱う上で安全性・操業信頼性の観点での十分な技術が確立すること(シナリオ2,3)